

第7回多摩デポ理事会

1. 日 時：2008年12月20日（土） 午後6時30分から
2. 場 所：立川市女性総合センターアトム 第1学習室
3. 議決権のある理事：9名 出席理事：5名
出席者：黒子恒夫、齊藤誠一、座間直壯、田中ヒロ、平山恵三
4. 報告及び協議事項

(1) 第1号議案 会員の動向について【報告】

正会員 個人99名 団体3団体

賛助会員 個人31名 団体2団体

合 計 個人130名 団体5団体

(2008年12月18日現在)

(2) 第2号議案 図書館総合展ポスターセッションへの参加報告【報告】

・11月25日 準備作業、11月26日～28日 展示、28日 プレゼンテーション（齊藤）

・反省、評価：ポスターやボード全面を使う工夫など改善の余地あり。出展し、プレゼンテーションにも参加したことでいろいろな人に関心を持ってもらうことができた。

(3) 第3号議案 図書館里親探しの動きについて【報告】

檜原村立の分も含め、現時点で提供館2市3館、受取館9市1村・10館とコンタクトを持った。6タイトルの全集・セット物（揃い3、不揃い3、計162冊）の内、5セットのほとんどが成立、4冊が調査継続中、1セット（10冊）が成立に至らなかった。成立分については、デポの宣伝も兼ねて、デポで届けている。

(4) 第4号議案 第3回多摩デポ講座の実施報告【報告】

日 時：12月14日（日） 午後2時～4時30分

テーマ：『多摩地域における共同利用図書館検討調査報告書』を読む

ゲスト：東村山市立中央図書館長 木村稔氏、 インタビュアー：齊藤誠一

会 場：立川市中央図書館会議室

参加者：23名（当日参加4名）（二次会13名）

・感想等：ゲストの木村館長はじめ、現職館長4人に出ただけなのがよかった。インタビュー形式がよかった。木村・齊藤コンビで、今回のような会をいろいろなところで開催できたらいいのではないか。

(5) 第5号議案 第4回多摩デポ講座について【報告】

日 時：2009年3月1日（日）午後2時～4時30分

会 場：国分寺労政会館第1会議室（地下1F）

テーマ：公共図書館・地域資料供覧の空気－全国の図書館を訪ねながらの感想と希望

講 師：平山恵三副理事長

(6) 第6号議案 日野市からの情報提供への対応について【報告】

施設での対応時間を10時～19時とする再提案があったが、やはり無理と判断し、お受けできないと回答した。

(7) 第7号議案 館長会の動きについて【報告】

- ・武蔵野市図書交流センターにある資料の処理について → 各自治体への振り分け、その後の処理状況など、確認の必要あり。
- ・多摩地域公立図書館大会について

2009年2月12日（木）第1分科会 館長協議会（13:30～ 国分寺市立いずみホール）

「多摩地域図書館の連携・協力・保存の現状と今後の展望」

安江明夫氏基調講演、パネルディスカッション（司会：齊藤誠一）

13日(金)第2分科会 障害者サービス

19日(木)第3分科会 地域資料

(8) 第8号議案 調布市市民活動支援センター会計講座参加について【報告】)

えんがわマネー講座「イチからわかるNPO会計」(11月20、27日)事務局参加

(9) 第9号議案 「国立市図書館協議会16期報告と提言」について【報告】

・「第16期国立市図書館協議会報告と提言」(2008年10月)の中で、“4.連携して発揮される力 ●「共同保存(利用)図書館」の実現に協力を”という項目があげられた。

(<http://www.library-kunitachi.jp/docshp/>)

・「武蔵野市立図書館運営委員会報告」(平成20年10月)では、指定管理者制度について、“市立図書館全館への指定管理者制度の適用については、プレイスにおける運営状況を見極めた上で慎重に検討する必要があります。”という表現にとどまった。

(http://www.library.musashino.tokyo.jp/data/unei/unei_3-houkoku.pdf)

(10) 第10号議案 第4回多摩デポ講座について【協議】

・PRについて → チラシ確定、14日デポ講座で配布済み

HP掲載、『通信』への同封、多摩地域公立図書館大会でのチラシ配布、日本図書館協会メルマガ、図書館雑誌等

(11) 第11号議案 多摩デポ通信第9号の発行について【協議】

<内容>・図書館資料里親探し事業 ・第4回多摩デポ講座お知らせ ・第3回講座報告、感想

・「共同利用図書館検討調査報告書」内容紹介、日野市立図書館HPで全文公開のお知らせ

・図書館総合展参加報告 ・図書館大会案内 ・会員現勢、書庫訪問②

<日程等> 1月下旬発行、8~10ページ

(12) 第12号議案 多摩デポブックレット(案)の作成について【協議】

・名称:多摩デポブックレット 1

・版型:A5 50~60ページ

・タイトル:『公共図書館と協力保存ー継続して利用を保証するために』

内容テーブル起こし原稿については安江氏了解済み、具体的な作成案を提示する。

パワーポイントのデータ、用語解説、資料などを加える予定

→ 名称、A5判組見本を了承、具体的な見積もりを取る。定価についても実費程度の価格を設定することを検討する。

・次号以降予定

②第1回多摩デポ講座『地域資料の収集と保存ーたましん地域文化財団歴史資料室の場合』
テーブル起こし済み、保坂氏校正中(年内予定)。年度内発行予定

③第2回多摩デポ講座『地図、場所、記憶そして編集』

テーブル起こし中、発行は来年度

(13) 都立図書館の動向について【協議】

「東京マガジンバンク」(都立多摩)「都市・東京情報サービス」(都立中央)の開始に伴い、多摩図書館の都政多摩資料は、都立1点所蔵資料は中央図書館へ移送、重複資料は「再活用」。「再活用」の冊数、日程などは不明。新聞多摩版切り取り製本版や脱酸処理済みの資料なども再活用に含まれる。多摩デポとして、情報公開を求める、日程についての申し入れなどできないか。

→ 理事長、事務局長が都立中央図書館の詳細状況を把握した上で、館長協議会の動きも見ながら、今後の効果的な行動について検討する。

次回の事務局会議 1月13日(火)午後6時半 調布たづくり 2番テーブル

次回の理事会 2月2日(月)午後6時半 国分寺労政会館 第1和室